

< 運営推進会議における評価 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	株式会社ルピナス新潟	事業所名	ケアステーションるびなす
所在地	(〒950-0926) 新潟市中央区高志2丁目20番10号		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

個々の希望する生活ができるよう、通い・泊まり・訪問・訪問看護を組み合わせ、柔軟な支援を心掛けている。
終末期を迎えても、希望をお聞きしながら、その人らしく過ごせるよう支援している。
ご家族の方との関わりも大事にし、協力してご本人を支えるよう努めている。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2017 年 11 月 24 日	従業者等自己評価 実施人数	(16) 人	※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2018 年 2 月 6 日, 3 月 28 日	出席人数 (合計)	(8) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 (3 人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 (0 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (1 人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (2 人) <input type="checkbox"/> 利用者 (0 人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (2 人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (0 人) <input type="checkbox"/> その他 (0 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
			自己評価	運営推進会議における意見等
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	職員の育成計画を作成する。	育成計画の検討。	育成計画については、検討中である。	<ul style="list-style-type: none"> ・新人、転入者を重点に実務的教育が大切と思う。 ・どんな職員が利用者に喜ばれるか。
	外部研修の伝達をする。	ミーティング時や伝達研修の時間を設け、研修内容を伝達。	外部研修の伝達は行えるようになったが、研修後時間が経ってから伝達する場合がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・多忙の中であるが、全ての外部研修を全員にやる必要があるか。(一口教養は、どうか)
	事故防止策を検討する場を持つ。	早急に対策が必要な場合はその場で話し合い対応。また、ミーティングでの話し合い。	その都度早急に必要な対策は行っているが、定期的な検討が不足している。	<ul style="list-style-type: none"> ・月 1 回程度、全体会議や研修会（毎日の事件事故を他山の石として勉強する）
	災害時対応マニュアルを作成し、行動手順を決め訓練する。	年 2 回の消防避難訓練。 地震・水害時の避難訓練。 連絡先リストの更新。 災害時マニュアルの作成。	火事以外の避難訓練を初めて行った。災害時マニュアルを作成したが、細かい行動手順を決めていく必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を継続的に行いながら、マニュアルを付け足していけば良いと思う。 ・自治会との連絡体制が確立している。 ・災害はもちろん、その他の災害や事故発生時のマニュアルを早急に作成していただき、備えてもらいたい。 ・災害時、施設からの家族への連絡方法はどうなっているのか、家族から施設への問い

					<p>合わせはどうしたら良いか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルによる実践訓練、自治会との連携等、つみ重ねが重要である。
<p>Ⅱ. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p>	<p>状態に合わせ、介護計画を変更する。</p>	<p>日々の記録やケースカンファレンスにて、情報・意見交換。状態の変化により変更が必要な場合は、担当職員が変更案を作成・提示、他職員より意見を求め、その後変更。</p>	<p>迅速ではないが、介護計画の変更手順を決め、必要な際行っている。介護計画の変更は少ない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の情報交換、チェックや先生（管理者）への報告を忘れない。
		<p>多職種との相談方法を決める。</p>	<p>毎週月曜の多職種連携カンファレンスにケアマネが参加し、報告・相談・情報共有を行い記録により伝達。緊急な場合はその都度看護師や医師に相談。</p>	<p>毎週カンファレンスに参加し報告・相談・情報共有できている。緊急な場合はその都度相談ができており、多職種と連携できている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見直しや改善ができていると思う。
	<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p>	<p>緊急時の連絡方法を明確にする。</p>	<p>緊急時は管理者へ電話連絡、連絡がつかない場合は総務、主任と順番を決めた。待てる場合は折り返しの電話を待ち、報告のみの場合は携帯メールを使用。</p>	<p>管理者へ、連絡がつかなかった場合の対応方法を決めた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡方法の明確化ができていると思う。
	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)</p>	<p>どのように地域との関わりを持つと良いか、実際に行えることを探る。</p>	<p>どのように地域と関わりを持てるか話し合いの場を持った。</p>	<p>具体的にどうするか決めておらず、実行に移せていない。毎月夜の茶の間が行われているが、職員は中々参加できないでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月夜の茶の間を開催し、地域の方の意見を聞く機会が持てているのは重要だと思う。 ・我が事、丸ごと、地域と共

					<p>生のやり方を皆で話し合う。 柴犬救出事案の、意見・やり方もひとつの手法。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山コミ，町内役員会等で事例発している。
<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)</p>	<p>実際の看取りで経験を積みながら、看取りの研修で振り返りや知識の向上を図る。</p>	<p>内部・外部の看取りの研修。 実際の看取り後の振り返り。</p>	<p>看取りは実際に経験する中で学ぶ部分が多く、毎回同じではない為、希望に沿えるよう努力している。</p> <p>内・外の看取りケア研修に参加できるようにしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のケアの向上につながっていると思う。 ・厚労省が終末期医療指針改定案を発表との報道あり。医師の働き過ぎ，診療報酬改定，医療サービス等、今後問題はないか。事前に本人の意思を聞きメモをしておき、最後に慌てないように。 	

※「進捗評価（運営推進会議における意見等）」には、運営推進会議の場で得られた主なご意見等をメモします。その他の欄は、事業所が記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・事故報告書を使用し、その都度個々に対策を考えているが、話し合いの機会が不足している。 ・災害対策マニュアルは作成したが、細かい行動手順を決めていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に、事故防止策を話し合う機会を作る。 ・災害対策マニュアルを基に、行動手順を決め訓練していく。 	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護計画を変更する際の手順を決めたが、変更は少ない。現在の状況に合っているか、また目標達成状況はどうか見ていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標と達成状況を確認しながら、介護計画が適切であるか見直していく。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療と介護で連携はできているが、状態変化時や緊急な際、必要な事をうまく伝えられているか不安がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職から医療職への伝達方法を含め、介護職員のわからない事を挙げて、学んでいく。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との関わりをどのように持てば良いか、話し合いをしたが決まっておらず、実行できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との関わりについて話し合い、実行していく。まずは、るびなすで開催されている地域のお茶会や夜の茶の間への参加を検討する。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人、ご家族の希望や不安などをどこまで汲み取り理解できているかが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人、ご家族との会話等から希望や不安等を汲み取り、皆で情報を出し合い、希望が叶うよう、また解決へ向けて努力する。 	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

※ 当該様式は、「事業所自己評価」の結果を整理するとともに、その結果を運営推進会議へ報告するための様式として使用します。また、運営推進会議において得られた主なご意見等は、次ページ以降の「運営推進会議における意見等」の欄にメモします。

■ 「今回の改善計画（案）」および「運営推進会議における評価」

項目	改善計画（案）	運営推進会議における意見等	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に、事故防止策を話し合う機会を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月行っているミーティングに組み入れて、統計や分析をしていくと良いと思う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 災害対策マニュアルを基に、行動手順を決め訓練していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会も協力するので、連絡下さい。町内では今年は自宅から直接避難所に集まる方法を考えており、避難場所の学校の部屋割りを区役所と決めるなど行っている。連携良くしていきましょう。 	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> 目標と達成状況を確認しながら、介護計画が適切であるか見直していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> 介護職から医療職への伝達方法を含め、介護職員のわからない事を挙げて、学んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> 何を伝えれば良いか、医療職に聞くと良いのでは。 伝える項目のセットを作っておき、日々の記録を見ながら伝えられると良いと思う。 家族にも情報をもらえれば早目に対応できる時もある。変化のある時は、連絡帳や電話でご家族に伝えていく。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> 地域との関わりについて話し合い、実行していく。まずは、るびなすで開催されている地域のお茶会や夜の茶の間への参加を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会のお茶会は女性ばかりだが、夜の茶の間ではお酒が飲めるので男性の参加者も多く、評判が良い。 るびなす祭りでは、自治会の協力のもと行っており交流できていると思う。子ども会との交流もある。 年3回地域の草取りに事業所からも参加させて頂いている。地域も高齢化し機械刈りの人員が少ないようなので、男性職員が参加できればと考えている。それには講習会が必要。草取りは顔見知りになるのに良く、子供さんも出ており、コミュニケーションの場となっている。

Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)	・ご本人, ご家族との会話等から希望や不安などを汲み取り、皆で情報を出し合い希望を叶えるよう努める。	・特になし。
-------------------------	--	--------

※「改善計画(案)」には、事業所としての案を記載します。「運営推進会議における意見等」は、運営推進会議の場で得られた主なご意見等をメモします

■ 評価表 [事業所自己評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	○				<ul style="list-style-type: none"> ・とてもよく出来ていると思います。心から感謝しています。 ・具体的にどのようにしたか（例示的に）明らかにした方が良いのではないかと。 ・よくできており問題なし。 ・今後利用者がもっと多くなった場合の、市や県の考え方は？ 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	○				<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している			○		・特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u>					
		職員との話し合いの機会があり、研修参加の機会も設けている。小さな事業所であり、育成計画の作成は難しく検討中である。					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している		○			・職員のケアの向上につながっていると思います。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u>					
		外部研修と内部研修の年間計画を立て、日常業務以外で研修に参加する機会を設け、できるだけ多くの職員が参加できるようにしている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている		○			<p>・週一回、定期的なカンファレンスを行っており、情報共有はできていると思います。</p>	<p>✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>日々の記録，その都度口頭や書面，カンファレンスの際に必要な情報を共有・伝達している。</p> <p>週1回クリニックにて、多職種連携カンファレンスを行い、口頭や書面で伝達している。</p> <p>緊急な場合はすぐに電話や直接口頭で行っている。</p>					
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている			○		<p>・好評の「夜の茶の間」に参加したいが仕事があり出れない職員のフォローは？</p>	<p>✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>運営推進会議での要望や助言はあまりないが、あれば検討しサービスの提供に反映させたい。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている		○			<p>・働き方改革、過労死を生む社会風土の改善は、国会でも最重要課題だが、理想と現場を違う。</p>	<p>✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます</p>
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている		○			<p>・多様な方法で情報共有されており、「よくできている」でも良いと思います。</p> <p>・大事な点は、なかなか徹底しないものである。</p>	<p>✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します</p>
		[具体的な状況・取組内容]					
		勤務の希望や変更の相談に応じ、できる限り対応している。有給休暇もとれるようになった。 職員間でお互い声をかけ合っている。定期的に職員へのヒアリングを行っている。 記録に時間がかかり、退勤時間が遅くなることが課題となっている。					
		業務日誌，連絡ノート，ケース記録，口頭，カンファレンス，ミーティングにてその都度、情報共有している。しかし、伝わっていない事もある為、不明点は再度確認をするようにしている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおそできている	あまりできていない	全くできていない		
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている			○		<ul style="list-style-type: none"> ・ 不祥事、各種事故防止は、組織の根幹課題。 ・ 毎日のニュース、報道で医療介護に絡む具体的な事故をテーマに他山の石としてミーティングする。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている			○		<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難訓練を継続して行いながら、マニュアルや行動手順を付けたしていけば良いと思います。 ・ 夜間など職員の少ない場合の地域との連携など具体的な行動手順など早急に体制を整備していただきたい。 ・ 各自治体等で実施する訓練に職員も参加、身体で覚える。施設利用者の命をどう守るか、マニュアルは必要と思うが、何が起こるか不明の時代。自治会員との会議や合同訓練。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
II サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	○				・問題なくアセスメントでき ており、行き届いていると思 います。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている		○			・特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・利用者・家族の考えを把握して頂いている。「よくできている」が良い。 ・毎月、ケアマネジャーの訪問を受け懇談し計画書を受領している。利用者の意をくんだ対応をして頂いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	○				<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が主体となった参加型イベントを多く開催されており、心身機能の維持につながっていると思います。 ・毎月、ケアマネジャーの訪問を受け懇談し計画書を受領している。利用者の意をくんだ対応をして頂いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている			○		・特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている		○			・状況変化の早期対応していた（歯科対応）。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している			○		<ul style="list-style-type: none"> ・利用頻度は多くないが必要に応じて利用させてもらっており安心のよりどころとなっている。 ・居宅訪問で新事実の把握。 ・ゴミ屋敷等山コミ管内も散見。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護については「記録簿」を備え、問題点が共有出来るようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
						<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>個々の状況や生活の希望に合わせ、様々な利用方法で、通い・泊まり・訪問サービスを提供している。訪問が必要な方には行っており、利用に偏りがあって当然である。</p> <p>状態変化については、連携カンファレンスや口頭、書面にて情報共有している。目標達成状況については、行えていない。</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状態に応じて必要な職種の連携が取れて、役割分担ができていれば良いと思います。 ・訪問看護については「記録簿」を備え、問題点が共有出来るようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
④ 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、 疾病予防・病状の予後予測・ 心身の機能の維持回復など の観点から、情報提供や提案 等を行っている		○			<p>・必要な情報提供や提案が行われ、ケアに生かされていると思うので「よくできている」でも良いと思います。</p>	<p>✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します</p> <p>✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>看護職から医療的な経過や、対応方法の提案、アドバイスを受け、ケアの実践に活かしている。 必要な方に必要な場合、行われている。</p>					
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			<p>・毎月1回、ケアマネジャーの訪問を受け、円滑に実施されている。</p>	<p>✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>利用前に丁寧に説明し、同意を得て計画を立て、利用開始している。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			<ul style="list-style-type: none"> 利用者に対して事前に説明、了解を得た上でサービスや医療サービスを実施されているので「よくできている」が良いと思います。 毎月1回、ケアマネジャーの訪問を受け、円滑に実施されている。 	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容]					
		相談しながら計画を立て、内容は丁寧に説明し、理解を得よう努めている。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			<ul style="list-style-type: none"> 利用者に対して事前に説明、了解を得た上でサービスや医療サービスを実施されているので「よくできている」が良いと思います。 	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容]					
		主治医、看護師より行っている。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	○				<ul style="list-style-type: none"> 特になし。 	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容]					
		本人・家族の希望や意向に沿って、必要なサービスを提供している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている		○			・特になし。	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 状況を見ながら、できるだけ希望の生活を続けられるよう相談しながら支援している。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	○				・看取りの報告に関して、具体的な対応や支援内容について説明をいただいております。	✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 適切な時期を見計らい医師より状況・経過を説明し、内容は記録し情報共有している。					
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	○				・特になし。	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 退院時カンファレンスへの参加や、病院看護師・相談員と情報共有を行い、退院後の生活を相談し支援している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
⑤ 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができる		○			<ul style="list-style-type: none"> ・主治医の月1回の訪問診察を受け、その都度助言を受けている。緊急時には主治医直通の携帯に連絡できるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
② 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	○				<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の連絡方法について、明確化されている。 ・主治医の月1回の訪問診察を受け、その都度助言を受けている。緊急時には主治医直通の携帯に連絡できるようになっている。 ・先生が24時間対応してくれるため、夜間の救急車要請事案もスムーズで助かったという声が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・必要時に連携がとれる体制づくりはできている。 ・定期的な会議を通じ詳細な情報を貰っている。 ・情報共有が一番大事であるが、個人情報・・・で、おかしいと思うことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・会議録，資料とも見やすく掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u>					
		運営推進会議では、民生委員、自治会長、地域包括支援センター職員に出席頂き、情報共有できている。					
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u>					
		会議録は事業所内でいつでも見る事ができる。また、ホームページに掲載し外部へ情報発信している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている		○			<p>・講演会や研修会、施設イベント（地域住民の参加あり）、園児との交流、お茶の間の開催などで啓発活動を積極的に行っておられる。「よくできている」が良いと思います。</p>	<p>✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です</p> <p>✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。</p> <p>✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます</p>
<p>(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮</p>							
<p>① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供</p>							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	○				<p>・地域の中で訪問看護の必要性があると思われる方の相談をさせてもらっております。</p>	<p>✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください</p> <p>✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の観点から、充足度を評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている				○	・特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>たん吸引が常時できる体制ではない為、積極的には受け入れている。</p>					
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている				○	・特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>今まで例がなく、受け入れ体制も整っていない。</p>					
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	○				<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議において、ケースの報告をしておられ、適切に対応している報告をいただいている。 ・家族としてはいざという時の心配がなく安心して過ごすことが出来、大変ありがたく思っております。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>医療との連携により看取り支援ができる体制にあり、これまでも多くの看取り支援をしてきた。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している			○		・当面、重点の事業計画であるので、地域包括支援センター小石センター長に方針や計画の説明会を依頼したらどうか。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	○				・特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域 の関係者に対し、必要に応じ て課題提起や改善策の提案 等が行われている		○			<p>・(我がこと・丸ごとなど) 事業運営だけでなく、地域の 相談窓口として他機関との ネットワークができています。</p> <p>・自治会長はじめ関係役員と 施設職員とは、日常随時情報 交換し問題解決に努めている。</p>	<p>✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」に ついて、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た 情報や知見、多様な関係者とのネットワ ーク等を活用し、必要となる保険外サー ビスやインフォーマルサービスの開 発・活用等、利用者等のみでなく地域に おける課題や改善策を関係者に対して 提案していくなどの役割も期待されま す</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合 は、「全くできていない」</p>
41	○ 家族等や近隣住民などに対 し、その介護力の引き出しや 向上のための具体的な取組 等が行われている			○		<p>・特になし。</p>	<p>✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の 引き出しや向上のための取組」につい て、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の 関わりを促しながら、関係者全員の介護 力を最大限に高めることにより、在宅で の療養生活を支えていくための環境を 整えていくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合 は、「全くできていない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	<p>① ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>計画目標に基づき日々実施し、達成度も高い。</p>	・特になし。	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
③ 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	<p>① ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>医療と介護が連携して、在宅でも療養生活が継続できるよう支援している。</p>	・特になし。	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<p>① ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>5. 看取りの希望者はいない</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>自宅でも事業所でも希望に沿って看取りができるよう、家族、医療と連携し出来る限りの支援をしている。</p>	・特になし。	<p>✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>

<全体を通して>

- ・いつも大変お世話様になりまして心から有りがたく感謝でいっぱいです。80を過ぎた私には難しくうまく書けませんが、許して下さい。
- ・求める項目を具体的に示して頂ければ、もう少し回答のしようもあったかと思えます。
- ・現状で十分満足しています。
- ・長年利用させて頂いております。お陰様で初めの頃より状態も回復し、安定しております。本人も家族も本当に助かっております。毎回楽しみにしております。
- ・手数のかかる母をあずかって頂くだけでも心苦しく思っています。貴社の運営について何も要望等はございません。今後ともよろしく願います。